

認知症作業療法 活動計画（概要）

和歌山県作業療法士会では、「認知症の人の生活支援委員会」を設置し、委員は医療機関や介護施設に所属する8名で構成。市町村からの依頼に対して認知症予防の講話や体操の指導を行なっています。認知症アップデート研修は10月～11月にオンラインで開催予定。認知症の人と家族の会 和歌山支部と事業連携し、啓発事業を行なっています。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

令和2年9月20日に行われる世界アルツハイマーデー記念公演会では和歌山県下30市町村を訪れ、認知症サポーターキャラバンのマスコット「ロバ隊長」と行く和歌山県のええとこ、コラボレーション写真の提供を行います。また、記念講演会の運営協力や各医療機関や介護施設において啓発ポスターやパンフレットの配布等を行います。



有田みかんとロバ隊長

認知症の人と家族の会との連携事業

認知症の人と家族の会 和歌山支部と事業連携し、各啓発事業や講演会の開催協力を行うと共に専門職として認知症に関わる生活・健康指導等を行なっていきます。また、「認知症の方への生活支援～作業療法士の活用～」として認知症の方の支援における作業療法の視点、作業療法士活用の問合せ先等を記載したパンフレットを配布していく。



COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

認知症アップデート研修や認知症における研修会等の対面開催は難しい為、ZOOMを用いたオンライン研修会等を計画しております。オンラインで参加しやすい環境づくりを行なっていきます。



介護予防・日常生活支援総合事業

和歌山市では理学療法士・作業療法士・言語聴覚士による「WAKAYAMAつれもて健康体操」を実施。作業療法士は其中で認知症予防講座として認知症予防に効果的な生活習慣の紹介や運動との関係についての講話や体操の指導等を行なっている。

今後の展開

- ・市町村から県士会として委託事業が受けられるように活動を継続する。（認知症カフェでの関わり）
- ・アップデート研修会の開催と人材育成。